

わが家の防災行動メモ

- 洪水が起きると、自宅の浸水状況がどうなるのかを9～16ページの避難決断マップや“久喜市防災ハザードマップ”で確認し、いくつかの避難のパターンを考えておきましょう。



1 避難決断マップで確認し 洪水で自宅がどうなる

9～16ページの避難決断マップで、自宅避難行動を確認しましょう。

(1) 該当する項目に○を記入してください。浸水ハザードエリアに該当する土地では、基本的に「滞在不可×」に○を記入することになります。

ハザードマップや避難決断マップで示される浸水状況は1つの想定にすぎません。浸水状況等にかかわらず、万が一に備えて避難先等を考えておきましょう。

あなたの判定結果は

滞在可 ○

自宅での避難（在宅避難・垂直避難）が可能です。

滞在不可 ×

浸水後に自宅にとどまることはできません。

自宅にとどまる場合には十分な備えを！
避難に危険を感じたら無理に自宅外に避難しない

命を守るために必ず早めの自宅外への避難が必要です

2 市内外を問わず、浸水のおそれが低い地域で、避難可能な場所を記入してください。

避難パターン1
浸水のおそれが低い地域の親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先等（分散避難先・広域避難先）
各自で確保

- (例1) □□市△△の実家（親戚の家）
- (例2) ◇◇町▽▽の友人の家
- (例3) ○○市◎◎の勤務先

避難パターン2
申請地から避難可能な距離にある「浸水のおそれが低い避難所」を洪水避難決断ブックで確認し、記入してください。

在宅避難の可能性

可能 ・ 不可能

在宅避難が不可能な場合は、必ず早めの自宅外避難が必要です

(3) 可能・不可能のどちらかを消す、どちらかの口を■や□にするなどして、選択してください。浸水ハザードエリアに該当する土地では、基本的に「不可能」を選択することになります。

浸水のおそれが低い避難所へ避難
各自で必需品を持参

- (例1) 鷲宮中学校
- (例2) 栗橋西中学校

※ 利根川氾濫時には市全域で浸水が想定されているため避難できる避難所は限られます。
※ 避難所には多くの方、様々な方が避難し、混雑が予想されます。まずは各自で避難先を確保しましょう。

マイ・タイムライン

3 避難が必要になった場合をイメージして、避難前の備えやいつ避難するかを記入してください。

(5) 備えの例を参考に、申請地の位置、建築物の居住者又は使用者のに応じて、マイ・タイムライン記入してください。

発信される情報や状況など

台風発生
レベル1 台風予報 早期注意情報

レベル2 大雨注意報 洪水注意報 台風の今後の見通し

大雨警報 洪水警報

氾濫注意水位到達
レベル3 高齢者等避難 高齢者等は避難

主な備え [メモ欄]

(例1)

- ・インターネットで台風情報を確認する。
- ・家の周りに風で飛ばされるようなものがあるときは、家の中に片づける。
- ・避難時の持ち物を準備する。
- ・携帯電話を充電する。
- ・ハザードマップで避難場所や方法を再確認する。
- ・□□市△△の実家に避難を開始する。
- ・携帯電話などで避難情報を確認する。
- ・避難しやすい服装に着替える。
- ・徒歩で鷲宮中学校★★へ避難を開始する。

備えの例

(例2)

- ・インターネットで台風情報を確認する。
- ・家の周りに風で飛ばされるようなものがあるときは、家の中に片づける。
- ・避難時の持ち物を準備する。
- ・携帯電話を充電する。
- ・ハザードマップで避難場所や方法を再確認する。
- ・栗橋西中学校★に避難を開始する（避難先でバスの配車を待つ。）。
- ・携帯電話などで避難情報を確認する。
- ・避難しやすい服装に着替える。
- ・徒歩で栗橋西小学校★★へ避難を開始する。

警戒レベル4までに必ず避難！

警戒レベル5は発令できない場合があります。警戒レベル5を待たずに、必ず危険な場所から避難！

状況に応じた柔軟な対応が重要です。

あなたや家族に何が必要かを確認し日ごろから備えましょう。
乳幼児や高齢者、疾患のある人など家族構成によって必要なものが異なります。あなたの家族をイメージし必要なものを備えましょう。

